

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書採択について（報告）

令和 7 年度以降使用教科用図書 中学校及び義務教育学校後期課程

種目	発行者略称	選定理由
国 語	東書	各教材で育成する資質・能力である「言葉の力」は「読むこと」教材で習得したことを、「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材で活用・定着できるように、領域間の連携が図られており、系統的・段階的に配置されている。古典教材のコンテンツでは視覚的な工夫がなされている。
書 写	東書	書き手の目線から筆を動かす動画があり、何回も見直し、書き方を理解できる。基本単元では3つのステップで構成されており、学習過程が統一されており、「書写のかぎ」により学習のポイントが焦点化されている。
社 会 (地理的分野)	日文	各節で単元を貫く問いが設定しやすくなっていたり、学習課題に対する地理的な見方・考え方が示されていたり、生徒自ら意識しながら学習に取り組めるように工夫されている。デジタルコンテンツとして確認の小テストもある。
社 会 (歴史的分野)	東書	小学校で学習した用語がまとめられており、既習事項を確認しながら学習に取り組むことができる。学習の様々な場面で対話的な活動を促すところがある。資料の分量と内容が適度に調整され、学習を進めやすい。
社 会 (公民的分野)	東書	生徒が学習内容の確認ができるように、各ページの下部に確認項目が設定されており、教科書のみで個別的な学習が可能な構成になっている。領域ごとに基礎的・基本的な知識やその説明が偏りなく、分かりやすい記述である。
地 図	帝国	世界の人々の住居・衣装・食事が豊富な写真でまとめてあり理解しやすい。重要な歴史地名・事項や環境、再生可能エネルギーに関する記号が充実しており、歴史的分野や公民的分野にわたって横断的に学習を進められる。
数 学	啓林館	すべての例についてデジタルコンテンツの解説動画があり、この理解に応じた学習ができる。学んだことを理解したり、表現したりしながら思考力・判断力・表現力を高められる工夫がなされている。
理 科	啓林館	基本的な概念や法則が簡潔にまとめられていたり、トピック的な話題で知識の活用場面が紹介されたりしている。実験の手順の詳細や、実験・観察例が豊富に掲載されており、学習意欲が高まる工夫がある。
音 楽 (一般)	教芸	様々な音楽について流れや特徴がまとめられており、興味を持たせながら活用できる。全体的にデジタルコンテンツが各所にあり、様々な図表や資料、音声データなどを活用することができる。
音 楽 (器楽合奏)	教芸	ギターコード表が見やすく使いやすい。箏のページにおいては基本的な奏法についても触れている。デジタルコンテンツを使って、伴奏を演奏させることができるので、主体的に学習しやすい。
美 術	開隆堂	生徒目線で制作のポイントや技法、鑑賞の方法や説明等を提示し、作業や鑑賞等の流れがイメージしやすい。学習の3要素が毎回提示され、単元内の説明は発達段階を考慮して簡潔で的確な文章表現である。
保健体育	学研	各単元で分かりやすくキーワードを示してあり、学ぶポイントについて意識しやすい。身近な問題や自他の問題として取り組むことができる写真や資料等の情報が提示してあり、説明が丁寧で、資料の配置が見やすい。
技術・家庭 (技術分野)	東書	技術の最適化を考えさせるために、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性を意識させることで技術を多面的に捉える工夫がなされている。学習の流れに沿ったレイアウトになっている。
技術・家庭 (家庭分野)	東書	基本的な技能を習得できるように工夫がなされており、教科書全体の流れが「自立から共生へ」と考えられるように工夫がなされている。調理実習や製作の手順など見通しをもって取り組むことができるようになっている。
外国語	開隆堂	基本文のポイントになる部分が赤字文字になっていてわかりやすく、生徒の実態に応じた教材になっている。プログラムの初めに Can-Do リストのような目標が記されており、何を習得すればよいかわかるので、見通しをもって学習できる。
道 徳	日文	性の多様性や不登校など、現代的諸課題が取り上げられており、生徒が前向きに生きようとする気持ちを引き起こすことができる。学習後のプラスワンの問いにより、学んだことをどう生かすかという視点で考えさせることができる。別冊で道徳ノートがあり、毎時間の振り返りや年間を通しての振り返りができる。